

新型コロナ、なぜ市民への一律給付を拒むのか!?

●次々広がる子育て世帯への一律給付の応援

釧路町 中学生まで 30000 円を給付

全住民への一律給付をしたうえで、
鶴居村は高校生まで 2 万円
厚岸町は中学生まで 2 万円
を一律に支給しています。



●特に経済的に厳しい「ひとり親世帯」に 重点的な支援をする町も

特に厳しい経済事情に置かれているひとり親世帯に限って重点的な支援をしている自治体もあります。

これは根室管内ですが、

根室市 ひとり親(子ども 2 人まで 3 万円、3 人以上 5 万円)
標津町 ひとり親(一世帯 5 万円)

また、浜中町は新たに、ひとり親家庭に収入の制限を設けず
10 万円を給付する予定です。



国は、後手後手に回っているとはいえず、ひとり10万円の一律給付を行いました。地方自治体では、国の施策とは別に、住民一人当たり●万円などと決めて、地元の商品券街で使える商品券を全住民に一律で配布する流れが広がっています。

釧路管内でも、多くの自治体を取り組んでいます。

国は学校の一斉休業など、負担が増えている子育て世帯には、児童手当に一万円を上乗せしました。地方自治体では、さらに二万円、三万円と上乗せ給付するところもあります。

新型コロナで疲弊しているのは事業者ばかりではありません。家計の応援も急がれます。共産党議員団は繰り返し、市民全員、あるいは子育てするすべての世帯を対象に「市の独自の給付制度」をつくるよう求めてきましたが、市にはその気はないようです。困っている市民の暮らしがわからないのでしょうか。



●全町民への商品券の配布

釧路管内だけを調べましたが、こんなに広がっています。

白糖	ひとり 5000 円 (3000 円は飲食専用) の商品券配布 さらに 2 回目の 5000 円を配布
厚岸	ひとり 6000 円 (3000 円は飲食専用)
鶴居	ひとり 6000 円の予定でしたが、12000 円に増額
標茶	一世帯 6000 円の商品券配布

村上千代通信

2020. 7. 12

発行 日本共産党釧路市議団 23-5212